

海外での教育

渡航から帰国までの、アメリカ・カナダでの日本の子どもの教育



アメリカの教育の国際競争力 大きな学校区と世界の数学の成績を比べると？

右の表は、世界の国々とアメリカの大都市の学校区（一部）を、4年生の算数の成績順に並べたものです。参考に、8年生の数学の成績も示してあります。

世界の国々の成績は、2003年に46ヵ国が参加したTIMMSの調査結果です。TIMMSは、各国の教育研究機関がメンバーの組織IEAが1995年から4年毎に、4年生と8年生を対象に実施している理科と算数・数学の学力調査です。この表では、46ヵ国参加の2003年調査結果の内、4年生の算数の点数順に並べてあります。

アメリカの大都市にある学校区（school district）の成績は、2007年に全米で実施されたNAEPの算数・数学の結果を、統計的にTIMMSの点数に換算して、TIMMSの結果と併せて点数順に並べて、斜体で示してあります。

この表を見ると、アメリカの教育について、次のような傾向がわかります。

- 1、学校区の点数の開きが10点から44点と非常に大きく、格差の大きさを表している。アメリカの教育は州や学校区により教育格差が大きいといわれているのを示している。
- 2、大都市の学校区の成績が全米平均（39点）に比べて低い。平均以上の成績を挙げているのは2学校区だけで、他の9学校区は平均より極めて低い。
- 3、2の事実は、この表に引用されている学校区以外の、NAEPに参加したほとんどの学校区の成績は全米平均より高く、かつ、世界の上位の成績の国々と同じレベルの成績を上げていると、推定できる。

☆

教育の国際競争力の指標としては、「フィンランドが世界一」「日本の学力が低下」などと話題になることの多いPISAがよく知られていますが、ここで紹介したTIMMSは各国の理数系教育の指標として、先進各国でその結果が重要視されています。

このデータの意義は、同一調査ではなく統計処理をした結果ですが、アメリカ国内（この場合は学校区）と世界の国々の成績を直接比較できることです。社会的な状況を反映して教育上の問題を多く抱えている大都市の学校区、先進各国に比べて明らかに低い成績しか上げられていないものの、全米の他の学校区がそれらの国と比較できる成績を上げているようです。皆さんのお子さんの学校区はいかがでしょうか？ 気になりませんか？（松本）

表とデータの説明

TIMMS: Trends in International Mathematics and Science Study (2003)

NAEP: National Assessment of Educational Progress, 2007

PISA: Programme for International Student Assessment

「順位」 TIMMSの4年生の算数の国別成績を、高得点から順に並べたもの。

「国・学校区」 TIMMS（4年生・算数）の参加国と、アメリカの大都市の学校区の一部。

「4年生」「8年生」 TIMMS・NAEPの算数・数学の評価が実施された学年。

出典：Philips, G., & Dossenev, J. (2008) 「Counting on the future」 American Institutes for Research

世界の国とアメリカの学校区の 数学の成績の比較

順位	国・学校区	4年生	8年生
1	Singapore	66	73
2	Hong Kong	60	66
3	Taiwan	53	62
4	Japan	53	57
5	Belgium	44	40
—	<i>Charlotte, NC</i>	44	34
—	<i>Austin, TX</i>	40	34
6	全米平均 NAEP 2007	39	31
7	England	37	—
8	Latvia	37	26
9	Lithania	37	25
10	Netherland	37	39
11	Russia	36	27
—	<i>San Diego, CA</i>	35	24
12	Hungary	35	37
—	<i>New York City, NY</i>	34	22
13	Cyprus	28	12
—	<i>Houston, TX</i>	28	21
—	<i>Boston, MA</i>	27	27
14	Moldova	26	12
15	Italy	25	18
16	Australia	23	27
17	New Zealand	22	22
—	<i>Atlanta, GA</i>	20	11
18	Scotland	19	22
—	<i>Los Angeles, CA</i>	19	14
—	<i>Chicago, IL</i>	16	13
19	Slovania	15	19
—	<i>Washinton D.C.</i>	14	8
20	Armenia	12	18
—	<i>Cleveland, OH</i>	10	7
21	Norway	9	9
22	Philippines	3	2
23	Iran	2	3
24	Tunisia	1	1
25	Morocco	1	1
参考	Korea	—	66